

日商簿記3級検定試験

100%合格目標

無料講座

第3回 試算表作成のための仕訳問題

公認会計士・税理士・AFP

依田宣夫

第3回 試算表作成のための仕訳問題

第3回 「試算表作成のための仕訳問題」

この問題は、主として第3問対策の仕訳の問題です。
計算のスピードや時間配分等に慣れるため問題を解いてください。

(注)

ここでは、すべての練習問題を掲載できませんので、
以下のURLへアクセスを、お願い致します。

<http://www.geocities.jp/kateikessan/bokikenntei/bokikenntei.html>

次回の日商簿記3級検定試験日

第136回 日商簿記3級検定試験

平成26年2月23日(日)

目次

目次

第1 ステップ イメージ仕訳による基本練習	イメージ仕訳の基本練習解答
第2 ステップ 試験用練習問題 (その1)	試験用練習問題の解答 (その1)
第3 ステップ 試験用練習問題 (その2)	試験用練習問題の解答 (その2)
第4 ステップ 試験用練習問題 (その3)	試験用練習問題の解答 (その3)
第5 ステップ 試験用練習問題 (その4)	試験用練習問題の解答 (その4)
試験形式用練習問題 (その1)	試験形式用練習問題解答
試算表答案作成	
のためのアドバイス	
第6 ステップ 試験用練習問題 (その5)	試験用練習問題の解答 (その5)
試験形式用練習問題 (その2)	試験形式用練習問題解答
試験形式用練習問題 (その3)	試験形式用練習問題解答
(参考) 試験問題形式	

仕訳の基本ルール（その1）

仕訳の基本ルール（その1）

決算書が出来るまでの流れ

すべての取引（会計事実） → 「仕 訳」 → 帳簿（元帳）記帳 → 試算表作成
 → 決算整理 → （精算表の作成） → 報告書（決算書）作成

「仕 訳」

1つの会計事実から1つの仕訳（メモ）を起こします。

仕訳(簿記用のメモ)の基本形

左 側 （借 方）		右 側 （貸 方）	
勘定科目	金額（円）	勘定科目	金額（円）

* 左・右に分かれている

* 左側（借方）と右側（貸方）の金額は一致している

「勘定科目」で分類され、「勘定科目」によって左右の増減が決まっています。

勘定科目は、日商簿記3級では、左側と右側に分けて、次のようにグループ分けされています。

日商簿記3級の試験に出る主な勘定科目の分類

左 側		右 側	
資産 グループ	現金、当座預金、普通預金、受取手形、売掛金、売買目的有価証券、商品、未収金、前払金、立替金、仮払金、手形貸付金、土地、建物、車両、備品、など	負債 グループ	支払手形、借入金、買掛金、未払金、前受金、預り金、手形借入金、仮受金、減価償却累計額、貸倒引当金、など
		純資 産 グル ープ	資本金、引出金、利益剰余金
費用 グル	仕入、給料、旅費交通費、賃借料、手形売却損、発送費、租税公課、消耗品費、保険料、通信費、水道光熱費、貸倒損失、支払手数料、支払利息、手形売却損、固定資産売却損、減	収益 グル	売上、受取手数料、受取利息、受取配当金、固定資産売却益、有価証券評

一 償却費、貸倒引当金繰入、有価証券評価損、有価証券売却損、など	一 償却費、有価証券売却益など
----------------------------------	-----------------

仕訳の基本ルール（その2）

仕訳の基本ルール（その2）

科目の増減処理

- 1、左側（資産グループ、費用グループ）の仕訳は、
増加の場合は左側、減少の場合は右側になります。
- 2、右側（負債グループ、純資産グループ、収益グループ）の仕訳は、
増加の場合は右側、減少の場合は左側になります。

（例）

商品500円を売り上げ、代金を現金で受け取った場合の仕訳は、
次のようになります。

現金・・・資産グループ（左側）・・・増加の場合は左側
売上・・・収益グループ（右側）・・・増加の場合は右側

左側（借方）		右側（貸方）	
勘定科目	金額（円）	勘定科目	金額（円）
現金	500	売上	500円

仕訳の基本ルール（その3）

仕訳の基本ルール（その3）

「イメージ仕訳」

「イメージ仕訳」を利用すると仕訳が簡単にできます。

仕訳を「イメージ仕訳」で分解すると、
ホップ・ステップ・ジャンプの三段跳びゲームになります。

ホップ	科目付け	取引がどの勘定科目に分類できるか推測する（得意科目を決定）
ステップ	増減付け	推測した勘定科目の増減を判断する
ジャンプ	左右付け	メモの右に書くか、左に書くかを確認する

（例）

電気代1,500円を現金で支払ったとします。

勘定科目は、現金と水道光熱費ですが、「イメージ仕訳」を利用すると仕訳は、次のようになります。

- 1、(ホップ) 科目付け・・・得意の勘定科目を現金だとすると、
- 2、(ステップ) 増減付け・・・現金が減少、
- 3、(ジャンプ) 左右付け・・・現金（資産グループ）の減少は右側
となります。

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 現金 1,500	減少	右側
水道光熱費 1,500		

そこで、「仕訳」は、現金を右側に書けばいいので、

左側（借方）		右側（貸方）	
勘定科目	金額（円）	勘定科目	金額（円）
水道光熱費	1,500円	現金	1,500円

となります。

イメージ仕訳による基本練習（１）期中取引の仕訳

イメージ仕訳による基本練習

（１）期中取引の仕訳

問１、掛けによる商品売上高 110,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 売上 110,000		
売掛金 110,000		

売上・・・収益グループ（右側）・・・増加の場合は右側

売掛金・・・資産グループ（左側）・・・増加の場合は左側

左側（借方）	右側（貸方）

問２、小切手振出による商品仕入れ 210,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 仕入 210,000		
当座預金 210,000		

仕入・・・費用グループ（左側）・・・増加の場合は左側

当座預金・・・資産グループ（左側）・・・減少の場合は右側

左側（借方）	右側（貸方）

問3、約束手形の振出による商品仕入れ 190,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 仕 入 190,000		
支払手形 190,000		

仕 入 . . . 費用グループ (左側) . . . 増加の場合は左側

支払手形 . . . 負債グループ (右側) . . . 増加の場合は右側

左 側 (借 方)	右 側 (貸 方)

問4 売掛金のある得意先を名宛人とする為替手形の振出による商品仕入れ 13,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 仕 入 13,000		
売掛金 13,000		

仕 入 . . . 費用グループ (左側) . . . 増加の場合は左側

売掛金 . . . 資産グループ (左側) . . . 減少の場合は右側

左 側 (借 方)	右 側 (貸 方)

問5、手形（当店を受取人とする手形）の裏書譲渡による商品仕入れ 10,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 仕 入 10,000		
受取手形 10,000		

仕 入・・・費用グループ（左側）・・・ 増加の場合は左側

受取手形・・・資産グループ（左側）・・・ 減少の場合は右側

左 側 （借 方）	右 側 （貸 方）

問6、当座預金への振込みによる商品売上高 310,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 売 上 310,000		
当座預金 310,000		

売 上・・・収益グループ（右側）・・・ 増加の場合は右側

当座預金・・・資産グループ（左側）・・・ 増加の場合は左側

左 側 （借 方）	右 側 （貸 方）

問7、掛けによる商品仕入れ 75,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ

科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 仕 入 75,000		
買掛金 75,000		

仕 入 . . . 費用グループ (左側) . . . 増加の場合は左側

買掛金 . . . 負債グループ (右側) . . . 増加の場合は右側

左 側 (借 方)	右 側 (貸 方)

問8、手形 (当店を受取人とする手形) の受領による商品売上高 250,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 売 上 250,000		
受取手形 250,000		

売 上 . . . 収益グループ (右側) . . . 増加の場合は右側

受取手形 . . . 資産グループ (左側) . . . 増加の場合は左側

左 側 (借 方)	右 側 (貸 方)

問9、手形債権10,000円の割引 (割引料200円を差し引いた手取金は当座預金として受取)

(1)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け

◎ 受取手形	9,800		
当座預金	9,800		

受取手形・・・資産グループ（左側）・・・減少の場合は右側

当座預金・・・資産グループ（左側）・・・増加の場合は左側

左側（借方）	右側（貸方）

(2)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 受取手形	200	
手形売却損	200	

受取手形・・・資産グループ（左側）・・・減少の場合は右側

手形売却損・・・費用グループ（左側）・・・増加の場合は左側

左側（借方）	右側（貸方）

問10、期日の到来した手形債権50,000円が決済され当座預金に入金された

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金	50,000	
受取手形	50,000	

当座預金・・・ 資産グループ（左側）・・・ 増加の場合は左側

受取手形・・・ 資産グループ（左側）・・・ 減少の場合は右側

左側（借方）	右側（貸方）

問11、期日の到来した手形債務38,000円が決済され当座預金から支払われた

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 38,000		
支払手形 38,000		

当座預金・・・ 資産グループ（左側）・・・ 減少の場合は右側

支払手形・・・ 負債グループ（右側）・・・ 減少の場合は左側と

する。

左側（借方）	右側（貸方）

問12、売掛金1,000円の貸し倒れが生じ貸倒引当金の取崩で処理した

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 売掛金 1,000		
貸倒引当金 1,000		

左側（借方）	右側（貸方）

問 1 3、売掛金 6 8,0 0 0 円が決済され当座預金に入金される

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 6 8,0 0 0		
売掛金 6 8,0 0 0		

左 側 (借 方)	右 側 (貸 方)

問 1 4、買掛金 7 1,0 0 0 円の決済のため小切手を振出して支払った

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 7 1,0 0 0		
買掛金 7 1,0 0 0		

左 側 (借 方)	右 側 (貸 方)

問 1 5、売買目的有価証券 3 0,0 0 0 円を購入し小切手を振出して支払う

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 3 0,0 0 0		

売買目的有価証券 30,000		
-----------------	--	--

左側 (借方)	右側 (貸方)

問16、帳簿価額50,000円の売買目的有価証券を52,000円で売却し代金を当座預金にて入金した

(1)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 50,000		
売買目的有価証券 50,000		

左側 (借方)	右側 (貸方)

(2)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 2,000		
有価証券売却益 2,000		

左側 (借方)	右側 (貸方)

問17、備品を購入し代金250,000円は翌月支払いとした

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 備品 250,000		
未払金 250,000		

左側 (借方)	右側 (貸方)

問18、今月分の給料230,000円を当座預金から支払う

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 230,000		
給料 230,000		

左側 (借方)	右側 (貸方)

問19、今月分の家賃60,000円を当座預金から支払う

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 60,000		
支払家賃 60,000		

左側 (借方)	右側 (貸方)

問20、借入金の元金100,000円とそれに伴う利息2,000円を当座預金から支払う

(1)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 100,000		
借入金 100,000		

左側 (借方)	右側 (貸方)

(2)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 2,000		
支払利息 2,000		

左側 (借方)	右側 (貸方)

イメージ仕訳の基本練習解答

イメージ仕訳の基本練習解答

問1、掛けによる商品売上高 110,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎売上 110,000 売掛金 110,000	増加	右

左側 (借方)	右側 (貸方)
売掛金 110,000円	売上 110,000円

問2、小切手振出による商品仕入れ 210,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎仕入 210,000 当座預金 210,000	増加	左

左側 (借方)	右側 (貸方)
仕入 210,000円	当座預金 210,000円

問3、約束手形の振出による商品仕入れ 190,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け (◎得意科目)	増減付け	左右付け
◎仕入 190,000 支払手形 190,000	増加	左

左側（借方）	右側（貸方）
仕 入 190,000 0円	支払手形 190,000円

問4 売掛金のある得意先を名宛人とする為替手形の振出による商品仕入れ 13,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 仕 入 13,000 売掛金 13,000	増加	左

左側（借方）	右側（貸方）
仕 入 13,000 円	売掛金 13,000円

問5、手形（当店を受取人とする手形）の裏書譲渡による商品仕入れ 10,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 仕 入 10,000 受取手形 10,000	増加	左

左側（借方）	右側（貸方）
仕 入 10,000	受取手形 10,000

問6、当座預金への振込みによる商品売上高 310,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 売 上 310,000 当座預金 310,000	増加	右

左側（借方）		右側（貸方）	
当座預金	310,000	売上	310,000
0			

問7、掛けによる商品仕入れ 75,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 仕 入 75,000 買掛金 75,000	増加	左

左側（借方）		右側（貸方）	
仕 入	75,000	買掛金	75,000円
円			

問8、手形（当店を受取人とする手形）の受領による商品売上高 250,000円

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 売 上 250,000 受取手形 250,000	増加	右

左側（借方）		右側（貸方）	
受取手形	250,000	売上	250,000
0			

問9、手形債権10,000円の割引（割引料200円を差し引いた手取金は当座預金として受取）

(1)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け

◎ 受取手形	9,800	減少	右
当座預金	9,800		

左側（借方）		右側（貸方）	
当座預金	9,800	受取手形	9,800

(2)

ホップ		ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）		増減付け	左右付け
◎ 受取手形	200	減少	右
手形売却損	200		

左側（借方）		右側（貸方）	
手形売却損	200	受取手形	200

問10、期日の到来した手形債権50,000円が決済され当座預金に入金された

ホップ		ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）		増減付け	左右付け
◎ 当座預金	50,000	増加	左
受取手形	50,000		

左側（借方）		右側（貸方）	
当座預金	50,000	受取手形	50,000

問11、期日の到来した手形債務38,000円が決済され当座預金から支払われた

ホップ		ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）		増減付け	左右付け
◎ 当座預金	38,000	減少	右
支払手形	38,000		

左側（借方）		右側（貸方）	
支払手形	38,000	当座預金	38,000

問12、売掛金1000円の貸し倒れが生じ貸倒引当金の取崩で処理した

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 売掛金 1,000 貸倒引当金 1,000	減少	右

左側（借方）		右側（貸方）	
貸倒引当金	1,000	売掛金	1,000

問13、売掛金68000円が決済され当座預金に入金される

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 68,000 売掛金 68,000	増加	左

左側（借方）		右側（貸方）	
当座預金	68,000	売掛金	68,000

問14、買掛金71,000円の決済のため小切手を振出して支払った

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 71,000 買掛金 71,000	減少	右

左側（借方）		右側（貸方）	
買掛金	71,000	当座預金	71,000

問15、売買目的有価証券30,000円を購入し小切手を振出して支払う

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 30,000 売買目的有価証券 30,000	減少	右

左側（借方）		右側（貸方）	
0	売買目的有価証券 30,000	当座預金	30,000

問16、帳簿価額50,000円の売買目的有価証券を52,000円で売却し代金を当座預金にて入金した

(1)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 50,000 売買目的有価証券 50,000	増加	左

左側（借方）		右側（貸方）	
00	当座預金 50,000	売買目的有価証券	50,000

(2)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 2,000 有価証券売却益 2,000	増加	左

左側（借方）		右側（貸方）	
当座預金	2,000	有価証券売却益	2,000
0			

問17、備品を購入し代金250,000円は翌月支払いとした

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 備品 250,000	増加	左
未払金 250,000		

左側（借方）		右側（貸方）	
備品	250,000	未払金	250,000

問18、今月分の給料230,000円を当座預金から支払う

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 230,000	減少	右
給料 230,000		

左側（借方）		右側（貸方）	
給料	230,000	当座預金	230,000
0			

問19、今月分の家賃60,000円を当座預金から支払う

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 60,000	減少	右
支払家賃 60,000		

左側（借方）		右側（貸方）	
支払家賃	60,000	当座預金	60,000

問20、借入金の元金100,000円とそれに伴う利息2,000円を当座預金から支払う
(1)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 100,000 借入金 100,000	減少	右

左側（借方）		右側（貸方）	
借入金	100,000	当座預金	100,000

(2)

ホップ	ステップ	ジャンプ
科目付け（◎得意科目）	増減付け	左右付け
◎ 当座預金 2,000 支払利息 2,000	減少	右

左側（借方）		右側（貸方）	
支払利息	2,000	当座預金	2,000

試算表答案作成のためのアドバイス

「 答案の作成手順 」

「仕 訳」 が終了



・ 勘定科目ごとに計算をして、解答用紙の残高試算表又は
合計残高試算表に結果を書き込みます。

・ 仕訳が多く出てくる勘定科目は、総勘定元帳形式の
T字型勘定に数字を記入して、計算をすると早く、
正確にできます。*（参考）

・ 借方と貸方それぞれの合計を計算します。

・ 合計金額が一致しなかった場合には、差額を計算します。
仕訳の中に差額の金額と同じ金額がないかチェックします。

科目ごとに合っているものにチェックを付けていき間違いを
探します。

*（参考）

現金の場合

月初の合計残高試算表の現金残高は、合計金額が左側（借方）50,000円、
右側（貸方）25,000円、残高は左側（借方）25,000円です。

今月の現金の仕訳は、次の通りでした。

左 側（借方）	右 側（貸方）
仕 入 5,000円	現 金 5,000円

左 側（借方）	右 側（貸方）
発送費 1,300	現 金 1,300円

0円	
左側（借方）	右側（貸方）
現金 5,000	仮払金 5,000円
0円	

（注） 問題によっては、仕訳でなく、次のように表示されている場合もあります。

現金勘定の記入

借方記入の内訳 （仮払金 ¥ 5 0 0 0）

貸方記入の内訳 （仕入 ¥ 5 0 0 0、発送費 ¥ 1 3 0 0）

「残高試算表の現金残高の計算」

現 金

増加は左側（借方）

減少は右側（貸方）

繰越残高	25,000	仕入	5,000
仮払金	5,000	発送費	1,300
合 計	30,000	合 計	6,300
		残高（差 額）	23,700

「合計残高試算表の現金残高の計算」

現 金

増加は左側（借方）

減少は右側（貸方）

繰 越	50,000	繰 越	25,000
仮 払 金	5,000	仕 入	5,000
		発送費	1,300
合 計	55,000	合 計	31,300
		残高（差 額）	23,700

解答のヒント

「科目の増減処理」

- 1、（資産グループ、費用グループ）の残高は、左側（借方）にくる。

(資産グループ、費用グループ)の仕訳は、増加の場合は左側(借方)、減少の場合は右側(貸方)となる。

2、(負債グループ、純資産グループ、収益グループ)の残高は、右側(貸方)にくる。

(負債グループ、純資産グループ、収益グループ)の仕訳は、増加の場合は右側(貸方)、減少の場合は左側(借方)となる。

(事 例)

次の月中取引から月末の合計残高試算表を作成しなさい。

月初合計残高試算表

借 方			貸 方	
残 高	合 計	勘定科目	合 計	残 高
25000	5000	現 金	25000	
70000	15000	受取手形	80000	
780000	138000	売掛金	600000	
360000	36000	繰越商品		
85000	8500	仮払金		
	25000	支払手形	36000	110000
	68000	買掛金	98000	300000
		仮受金	6000	6000
		資本金	50000	50000

		売 上	1 9 5 0 0 0	1 9 5 0 0 0
1 6 0 0 0	1 6 0 0 0	仕 入	0	0
0 0	0 0	発送費		
		手形売却損		
2 9 2 0 0 0	4 5 5 5 0 0		4 5 5 5 0 0	2 9 2 0 0 0
0	0		0	0

(月中仕訳)

(1)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
仮受金	60,000	売掛金	60,000

(2)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
仕 入	5,000円	現 金	5,000円

(3)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
発送費	1,300	現 金	1,300

(4)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
現 金	5,000	仮払金	5,000

(5)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
手形売却損	200	受取手形	200

(6)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
仕 入	110,000	支払手形	110,000円

「科目の増減処理」

1、（資産グループ、費用グループ）の残高は、左側（借方）にくる。

（資産グループ、費用グループ）の仕訳は、増加の場合は左側（借方）、減少の場合は右側（貸方）となる。

（例）

資産グループ

「現金」

合計試算表

左側（借方）	$50000 + 5000 = 55000$
右側（貸方）	$25000 + 5000 + 1300 = 31300$

残高試算表

$$25000 + 5000 - 5000 - 1300 = 23700$$

「受取手形」

合計試算表

左側（借方）	$150000 = 150000$
右側（貸方）	$80000 + 200 = 80200$

残高試算表

$$70000 - 200 = 69800$$

「売掛金」

合計試算表

左側（借方）	$1380000 = 1380000$
右側（貸方）	$600000 + 60000 = 660000$

残高試算表

$$780000 - 60000 = 720000$$

費用グループ

「仕入」

合計試算表

左側（借方）	$1600000 + 5000 + 110000 = 1715000$
--------	-------------------------------------

右側（貸方） 0 = 0

残高試算表

1 6 0 0 0 0 0 + 5 0 0 0 + 1 1 0 0 0 0 = 1 7 1 5

0 0 0

- 2、（負債グループ、純資産グループ、収益グループ）の残高は、
右側（貸方）にくる。

（負債グループ、純資産グループ、収益グループ）の仕訳は、
増加の場合は右側（貸方）、減少の場合は左側（借方）となる。

負債グループ

「支払手形」

合計試算表

左側（借方） 2 5 0 0 0 0 = 2 5 0 0 0 0

右側（貸方） 3 6 0 0 0 0 + 1 1 0 0 0 0 = 4 7 0 0 0 0

残高試算表

1 1 0 0 0 0 + 1 1 0 0 0 0 = 2 2 0 0 0 0

「買掛金」

合計試算表

左側（借方） 6 8 0 0 0 0 = 6 8 0 0 0 0

右側（貸方） 9 8 0 0 0 0 = 9 8 0 0 0 0

残高試算表

3 0 0 0 0 0 = 3 0 0 0 0 0

収益グループ

売上

合計試算表

左側（借方） 0 = 0

右側（貸方） 1 9 5 0 0 0 0 = 1 9 5 0 0 0 0

残高試算表

1 9 5 0 0 0 0 = 1 9 5 0 0 0 0

（参考）

1. 何回も計上される科目の場合・・・総勘定元帳形式で計算すると早く、正確にでき

ます。

(例) 現金、売掛金、当座預金、支払手形、買掛金、売上。仕入など

(例) 現金の場合

仕 訳

(2)

左 側 (借方)	右 側 (貸方)
仕 入 5,000円	現 金 5,000円

(3)

左 側 (借方)	右 側 (貸方)
発送費 1,300円	現 金 1,300円

(4)

左 側 (借方)	右 側 (貸方)
現 金 5,000円	仮払金 5,000円

残高試算表

現 金

増加は左側 (借方)

減少は右側 (貸方)

繰越 残高 25000	仕 入 5000
仮 払 金 5000	発送費 1300
合 計 30000	合 計 6300
	残高 (差 額) 23700

合計残高試算表

現 金

増加は左側 (借方)

減少は右側 (貸方)

繰 越 50000	繰 越 25000
仮 払 金 5000	仕 入 5000
	発送費 1300
合 計 55000	合 計 31300

	残高（差 額） 23700
--	---------------

2. 一回しか出てこない科目の場合

月初の金額に直接加算又は減算してその結果を試算表に記入する

発送費 1,300
 手形売却損 200

3. 繰越商品は、決算の棚卸まで金額の変更はないので、そのままの金額を記入する。

(解答)

合計残高試算表

借 方			貸 方	
残 高	合 計	勘定科目	合 計	残 高
23700	55000	現 金	3130 0	
69800	150000	受取手形	8020 0	
720000	1380000	売掛金	66000 0	
360000	360000	繰越商品		
80000	85000	仮払金	5000	
	250000	支払手形	47000 0	22000 0
	680000	買掛金	98000 0	30000 0
	60000	仮受金	60000	0
		資本金	50000 0	50000 0
		売 上	195000 0	195000 0
171500	171500	仕		

00	171500	0	171500	11 入		
0	130		1300	発送費		
0	20		200	手形売却 損		
0	297000		4736500	合計	4736500	2970000
					0	

試験用練習問題（その5）

試験用練習問題（その5）

（練習問題）

次の資料（月初残高試算表と期中仕訳）に基づいて、6月30日現在の残高試算表を作成しなさい。

解答

時間：20分

残高試算表
平成22年6月1日現在

借 方	勘 定 科 目	貸 方
23,000	現 金	
328,000	当座預金	
150,000	受取手形	
138,000	売掛金	
57,000	売買目的有価証券	
6,000	仮払金	
360,000	繰越商品	
85,000	未収金	
600,000	備 品	
	支払手形	60,000
	買掛金	98,000
	借入金	260,000
	前受金	20,000
	備品減価償却累計額	133,000
	資本金	500,000
	売 上	1,248,500
	有価証券売却益	0
360,000	仕 入	
200,000	給 料	

	7,500	発送費	
	5,000	支払利息	
0	2,319,500		2,319,500

(月中仕訳)

(1)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
受取手形	60,000	売掛金	60,000

(2)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
仕入	8,000円	現金	8,000円

左側 (借方)		右側 (貸方)	
仕入	50,000円	買掛金	50,000円

(3)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
発送費	1,300	現金	1,300

(4)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
現金	5,000	仮払金	5,000

(5)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
当座預金	2980	受取手形	29800

左側 (借方)		右側 (貸方)	
手形売却損	200	受取手形	200

(6)

左側 (借方)	右側 (貸方)
仕 入 110,000 0円	支払手形 110,000円

左側 (借方)	右側 (貸方)
仕 入 5,000円	現 金 5,000円

(7)

左側 (借方)	右側 (貸方)
当座預金 520 00	売買目的有価証券 52000

左側 (借方)	右側 (貸方)
当座預金 50 00	有価証券売却益 5000

(8)

左側 (借方)	右側 (貸方)
給 料 1520 00	当座預金 152000

(9)

左側 (借方)	右側 (貸方)
支払手形 1020 00	当座預金 102000

(10)

左側 (借方)	右側 (貸方)
借入金 2000 0	当座預金 20000

左側 (借方)	右側 (貸方)
支払利息 3000	当座預金 3000

(11)

左側 (借方)	右側 (貸方)
---------	---------

売掛金 35000 0	売 上 350000
----------------	------------

(12)

左側 (借方)	右側 (貸方)
前受金 2000 0	売 上 20000

(解 答)

残 高 試 算 表

平成22年6月30日現在

借 方	勘 定 科 目	貸 方
	現 金	
	当座預金	
	受取手形	
	売掛金	
	売買目的有価証券	
	仮払金	
360,000	繰越商品	
85,000	未収金	
600,000	備 品	
0	支払手形	
	買掛金	
	借入金	
	前受金	
	備品減価償却累計額	133,000
	資本金	500,000
	売 上	
	有価証券売却益	
	仕 入	

	給 料	
	発送費	
	手形売却損	
	支払利息	

試算表答案作成のための練習問題解答（その5）

第6ステップ 試算表答案作成のための練習問題解答

「 残高試算表の答案作成手順 」

「仕 訳」 が終了

↓

- (1) 各勘定科目ごとに残高を計算する。
仕訳の多い科目は、勘定（T字型）に数字を記入して計算をします。
- (2) 計算が終了した各科目ごとに、解答用紙の残高試算表に、結果を書き込みます。
- (3) すべての科目の記入が終了したら、借方と貸方それぞれの合計を計算します。
- (4) 合計金額が一致しなかった場合には、差額を計算します。
- (5) 仕訳の中に同じ金額がないかチェックします。
- (6) 科目ごとに合っているものにチェックを付けていき、間違いを探します。

解答のヒント

「勘定科目の増減処理」

1、（資産グループ、費用グループ）の「残高」は、左側（借方）にくる。

（資産グループ、費用グループ）の仕訳は、増加の場合は左側（借方）、減少の場合は右側（貸方）となる。

（例）

資産グループ・・・残高は左側（借方）

・現金

現金

増加は左側（借方）

減少は右側（貸方）

繰越	23000	仕入	8000
仮払金	5000	発送費	1300
		仕入	5000
合計	28000	合計	14300
		残高（差額）	13700

$$23000 + 5000 - 8000 - 1300 - 5000 = \underline{13700}$$

・当座預金

当座預金

増加は左側（借方）

減少は右側（貸方）

328000	152000
29800	102000
52000	20000
5000	3000
合計 414800	合計 277000
	残高（差額） 137800

$$328000 + 29800 + 52000 + 5000 - 152000 - 102000 - 20000 - 3000 = \underline{137800}$$

・受取手形

$$150000 + 60000 - 29800 - 200 = \underline{180000}$$

費用グループ・・・残高は左側（借方）

・仕入

$$360000 + 8000 + 50000 + 110000 + 5000 = \underline{533000}$$

2、（負債グループ、純資産グループ、収益グループ）の「残高」は、

右側（貸方）にくる。

（負債グループ、純資産グループ、収益グループ）の仕訳は、
増加の場合は右側（貸方）、減少の場合は左側（借方）となる。

負債グループ・・・残高は右側（貸方）

・支払手形

$$60000 + 110000 - 102000 = \underline{68000}$$

・買掛金

$$98000 + 50000 = \underline{148000}$$

収益グループ・・・残高は右側（貸方）

・売上

$$1248500 + 350000 + 20000 = \underline{1618500}$$

（解答）

残高試算表
平成22年6月30日現在

借	勘定科目	貸
方		方
13,700	現金	
137,800	当座預金	
180,000	受取手形	
428,000	売掛金	
5,000	売買目的有価証券	
1,000	仮払金	
360,000	繰越商品	
85,000	未収金	
600,000	備品	
	支払手形	68,000
	買掛金	148,000
	借入金	240,000

	前受金	0
	備品減価償却累計額	133,000
	資本金	500,000
	売上	1,618,500
	有価証券売却益	5000
533,000	仕入	
352,000	給料	
8,800	発送費	
20	手形売却損	
8,000	支払利息	
2,712,500	合計	2,712,500

* 繰越商品は、決算の棚卸まで金額の変更はないので、そのままの金額を記入します。